広報

つちうら

2020 1

Tsuchiura Public Relations

No.1258

霞ヶ浦から大空へと織り成す朝焼けの美しいグラデーション。日の出は、自然の営みの始まりであるとともに、未来への希望を感じさせてくれます。今年は一歩前に踏み出し、新たなことに挑戦してみてはいかがでしょうか。

新しい年の始まりに寄せて

明けましておめでとうございます。

市民の皆様には、希望に満ちた輝かしい新春を健やかにお迎えのこととと、心からお喜び申し上げます。

市長に就任して初めての新年を迎え、本市の輝かしい未来のため、全力投球で市政に邁進することを固く心に誓ったところでございます。また、市民の皆様からいただいた期待と信頼をしっかりと受け止め、皆様の幸せと「夢のある、元気のある土浦」の実現に向けて、誠心誠意、全力を尽くす所存です。

私は、すべての市民の皆様に寄り添ったあたたかさあふれる市政の実現を目指し、愛する土浦を、子どもたち、孫たちが私たちと同じように誇れるよう、地域の特性や実情を踏まえたまちづくりを行いながら、より一層独自性を発揮し、「夢のある元気な土浦」にしていかなければならないと考えております。

また、歴史と文化のまち土浦には、祭り、霞ヶ浦を含む水郷筑波国定公園、れんこん、花など、誇れる地域資源がたくさんあります。私たちはこれらを次の世代に引き継がなくてはなりません。そして、これから生まれてくる子どもたちが、安心して人生のスタートをきり、このまちに生まれてよかったと思える土浦にしなければなりません。

このような思いを実現するため、私は、次の7つの基本的な政策に全力を尽くしてまいります。

①市民の暮らし満足度ナンバーワン実現
②子育て支援と女性の活躍の場づくり
③市財政の健全化
④市民の安心安全
⑤医療・介護・福祉の充実
⑥土浦ブランドセールス
⑦歴史・文化・伝統・祭りの伝承・発信

以上、申し上げました7つの基本的な政策をもとに、今後、具体的な施策展開に向けて取り組んでまいります。

私は、女性も男性も、高齢者も若者も、障がいのある方も、市民の誰もが個性と多様性を互いに尊重し、それぞれの夢や希望がかない、誰もが生きがいを感じることができるまち、生まれ育ったこの土浦市を誇りに思うまちづくりに取り組んでまいります。

今後4年間、土浦市一丸、ワン・チームで、「すべての市民の皆様に寄り添った、市民くらし満足度ナンバーワンの、あたたかさあふれる土浦市政」の実現に向け、全身全霊で取り組んでまいる所存でございますので、市民の皆様の一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

今年は、昭和15年に土浦市が誕生して、市制施行80周年という大きな節目の年を迎えます。この記念すべき年を市民の皆様とお祝いするとともに、これまで先人たちが守り、育んできた土浦の魅力を再認識し、新たな未来を築いていけるよう精一杯努力してまいります。

結びに、本年が皆様にとりまして、素晴らしい年になりますことを心からご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

土浦市長　安藤真理子

特集

走り出した自転車のまち

通学、通勤、スポーツ、レジャー、エコロジー。あなたは『自転車』というワードからどんなイメージを連想するでしょうか。

自転車の関わり方は人それぞれで、時代やその人の年齢などによってもさまざまに変化してきました。

そして今、街と自転車、土浦と自転車の関わり方も変わりつつあります。今回は、「自転車のまち」として走り出した土浦に注目し、全国からサイクリストが訪れる『つくば霞ヶ浦りんりんロード』や、初心者でも楽しめる市内でのサイクリングなどについてご紹介します。

1＿夕暮れの霞ヶ浦湖畔。時間帯や見る位置によってさまざまな表情を見せてくれる霞ヶ浦も「つくば霞ヶ浦りんりんロード」の魅力の1つです　2＿りんりんスクエアのサイクルショップ。色とりどりの自転車が所狭しと並ぶ様子は目にも楽しい　3～5＿市内で行われた自転車関連イベントの様子。市内だけでなく、市外・県外からも多くの参加者が訪れます　6＿子ども向けの自転車教室イベント。毎回人気を博しており、申し込みを開始するとすぐに定員に達するとのこと

充実する自転車環境

2018年3月――、土浦駅の駅ビルが、日本最大級の自転車リゾート施設「プレイアトレ」へと変化を遂げました。

サイクリング拠点施設「りんりんスクエア土浦」を核に、店内に自転車を持ち込むことのできるカフェなど、サイクリストをターゲットとした施設が充実しています。

さらに今年3月には星野リゾートの手がけるサイクリスト向け宿泊施設も完成予定で、自転車観光客の増加などが期待されています。

2019年3月に完成した広域交流拠点「りんりんポート土浦」もまた、霞ヶ浦一周などを目的に訪れるサイクリストを中心に人気を集めています。無料駐車場があり、電車で訪れる利用者が多いプレイアトレとは対照的に、車での利用者が多いのが特徴です。

休日はもちろん、天気が良ければ平日でも数十組ものサイクリストが、ここを基点にサイクリングやポタリングを楽しんでいます。

これら2つの拠点施設を筆頭に、ハード面での整備が進む市内の自転車環境ですが、ソフト面でも様々な取り組みが行われています。

「ロードバイクやクロスバイクに乗ってみたいけど、なかなか手が出ない…」と言う初心者の方にも人気なのがレンタサイクルです。

りんりんポート土浦やまちかど蔵「大徳」、りんりんスクエア土浦などで借りることができ、Eバイクやタンデムバイクも人気です。

また、大小様々な自転車関連のイベントも開催されており、県内外から多くの人が訪れています。

世界に誇る自転車道へ

このようなハード面、ソフト面の充実を牽引する最大の要素が「つくば霞ヶ浦りんりんロード」です。

昨年11月、国が世界に誇る自転車道を認定するナショナルサイクルルートの第1弾として、『ビワイチ（滋賀県）』、『しまなみ海道サイクリングロード（広島県・愛媛県）』と共に選ばれました。

土浦市は、この全長約180kmにおよぶコースのほぼ中央に位置しており、JR常磐線や常磐自動車道により、県外からもアクセスの良い、コースの玄関口として機能しています。

日本が世界に誇る自転車道と共に走り出した自転車のまち、土浦。

多くのサイクリストを惹きつけるナショナルサイクルルート、「つくば霞ヶ浦りんりんロード」と、初心者でも楽しめるレンタサイクルでの市内散走について取材しました。

つくば霞ヶ浦りんりんロード

世界に誇るナショナルサイクルルートに

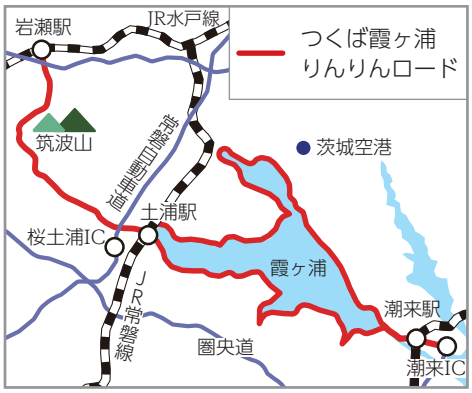
NATIONAL CYCLE ROUTE

ナショナルサイクルルートとは、日本を代表し世界に誇るサイクリングルートとして国内外にＰＲするため、国土交通省により指定される魅力的で安全なルートです。昨年11月、ビワイチ（滋賀県）、しまなみ海道サイクリングロード（広島県・愛媛県）とともに、「つくば霞ヶ浦りんりんロード」がナショナルサイクルルートに選ばれました。

ナショナルサイクルルートに指定された「つくば霞ヶ浦りんりんロード」は、筑波鉄道跡に整備したつくばりんりんロードと霞ヶ浦を周回する湖岸道路を合わせた、全長約180kmのサイクリングルートです。

土浦は、このサイクリングルートのほぼ中心に位置し、筑波山麓に広がる田園風景やヒルクライムが楽しめる筑波山方面と、全国のサイクリストからカスイチとして親しまれる霞ヶ浦方面、それぞれの起点となっています。また、市外・県外からのアクセスも良く、サイクリストの玄関口にもなっています。

ここでは、「つくば霞ヶ浦りんりんロード」の魅力を、サイクリングに訪れた皆さんの声とともに紹介します。



ここが魅力　爽快な走りと景色が楽しめる！

ナショナルサイクルルートに選ばれた３つのルート全て走ったことがありますが、つくば霞ヶ浦りんりんロードの１番の魅力は走りやすさです。路面がよく整備されているし、湖岸道路は車も少ないので、爽快な走りを楽しめます。

筑波山の山並みや霞ヶ浦のきらめく湖面、広がる青空を眺めてのサイクリングは最高です。ウナギなど、地元の美味しいご飯を食べることも楽しみです。

▲天気が良い日には富士山も見ることができるサイクリングロードからの夕景

稜線が美しいサイクリングロードからの筑波山▶

ここが魅力　安心してサイクリングができる走行環境！

安心してサイクリングを楽しむことができる環境が魅力です。

進路や距離が表示された案内看板、矢羽根や注意喚起などの路面標示がたくさんあるので、安心して走ることができます。

休憩やトイレでルート沿いのコンビニエンスストアや飲食店に立ち寄ると、自転車ラックが設置されているので利用しやすいです。

▲コース上の分岐点に設置されている案内看板

▲自転車の通行域や進路を示す矢羽根や走行時の注意喚起などを示すピクトグラム

サイクルサポートステーション

サイクルサポートステーションは、コンビニエンスストアや飲食店などが協力し、安全で快適なサイクリングができるようサポートする施設で、トイレや休憩所として利用いただけます。

自転車ラックを設置し、空気入れや工具の貸し出しを行っています。

ここが魅力　サイクリスト向けの便利な施設！

東京から電車で１時間程度で来ることのできるアクセスの良さと、駅から出てすぐにある「りんりんスクエア土浦」の充実した設備が魅力です。

自転車の組み立てや着替え場所、自転車ラック、手荷物を預けるロッカーなど、自転車の準備に必要な設備が整っているのでとても便利です。帰りも電車なのでシャワー室で汗を流せるのも嬉しいです。

▲駅直結のりんりんスクエア土浦

▲駐車場があるりんりんポート土浦

りんりんスクエア土浦のレンタサイクルで子ども用のバイクも借りることができるので、親子で来ました。

筑波山方面と霞ヶ浦湖岸の両方を走りましたが、ずっと平らな道で小学生の息子でも走りやすく楽しめました。

両施設には、自転車のメンテナンススペース、更衣室、レンタサイクル、ロッカー、シャワー室を完備。サイクリングマップや観光情報などもご用意しています。

市外・県外からもたくさんの方がサイクリングを楽しみに訪れる「つくば霞ヶ浦りんりんロード」。筑波山や霞ヶ浦といった雄大な自然が見せる景観と、安心・快適なサイクリングを楽しめる環境が魅力です。

日本を代表するこのサイクリングルートを皆さんも走ってみませんか。買い物や通勤・通学などの移動手段として乗る自転車とは違った楽しみや新しい発見があるかもしれません。

土浦まちなか散走体験

散歩感覚で自転車を走らせる散走をご存知でしょうか。歴史や文化に触れたり、食を楽しんだりしながら、散歩するように街を巡る自転車の楽しみ方で、自転車があれば誰でも気軽に始められます。

今回は市内にお住まいの方に実際に散走を体験してもらいました。まちかど蔵「大徳」をスタートし、まちなか散走に出発です。

まちかど蔵「大徳」

ここではレンタサイクルを貸し出しています。シティサイクルはもちろん本格的なクロスバイクもあり、無料でヘルメットをレンタルできるので、手ぶらで訪れて気軽に散走に繰り出せます。今回はクロスバイクを選んで散走スタート。

等覚寺

江戸情緒を感じる街並みの中城通りを抜けると、ほどなくして最初の目的地に到着。国指定重要文化財の銅鐘など境内を見学した後は、再び自転車に乗って次の目的地を目指します。

上高津貝塚ふるさと歴史の広場

等覚寺から桜川を越えペダルを漕ぐこと約20分、目的地に到着。考古資料館や実際の貝塚、復元された竪穴式住居など文化財を探索しました。その後、次の目的地に向かうため広場奥の林道を抜け、筑波山を望みながら市街地を目指しました。

土浦市立博物館

「あ、こんなところに綺麗なイチョウ！」車に乗っていると見逃してしまう景色も、自転車では見つけることができます。隠れた絶景を探しているうちに次の目的地の市立博物館に到着。土浦の歴史を学ぶことができる同館では大名土屋家の刀剣や茶道具を見学しました。

亀城公園

博物館の次は隣接する亀城公園を散策。美しい紅葉を楽しみました。同公園は桜の名所としても知られていますので、春に散走する際にもオススメのスポットです。

まちかど蔵「野村」

最終目的地のまちかど蔵に戻ってきました。レンタサイクルを返却したら約２時間の散走は終了、心地のいい疲労を感じます。散走のあとは、明治時代に造られたレンガ蔵を改装した喫茶「蔵」でランチ。レトロな雰囲気が漂うなか、名物ツェッペリンカレーを食べながら散走の余韻に浸りました。

今回のコース

今回走ったコースは、結城市、筑西市、桜川市、土浦市のサイクリングコースを紹介している「ちゃりさんぽ」のコースを参考にしました。

まちかど蔵「大徳」
▼
等覚寺
▼
上高津貝塚
ふるさと歴史の広場
▼
土浦市立博物館
▼
亀城公園
▼
まちかど蔵「野村」

散走体験を終えて

いつもは車で移動することが多い土浦のまちなかですが、自転車だといつもとは違う景色に見えてとても新鮮でした。土浦にはまだまだいいところがあると再発見できたのも良かったです。天気も良い日で、とても気持ちよく走れましたし、良い運動にもなり、あっという間の２時間でした。また自転車でまちなかを走ってみようと思います。

今回散走を体験した海老原照一さん、悦子さんご夫婦

INFORMATION
情報ひろば

日 日時・日程　持 持ち物
場 会場　¥ 料金・受講料
対 対象者　申 申込方法
講 講師　〆 締め切り
内 内容　問 問い合わせ
定 定員　他 その他

土浦市役所　☎826-1111
防災行政無線　0120-826113

マイシティつちうら
まちの話題やニュースをお届けします。土浦ケーブルテレビ　デジタル11ch(111ch)【毎日9:00/12:00/16:00/20:00の各15分】

土浦市メールマガジン
行政、子育て、健康づくり、観光・イベントなどの情報をメールでお届けします。
登録はこちら▶

文化財防火デー防火訓練
日1月23日(木)　午前10時から
場亀城公園
※雨天時はお問合せください。
内通報訓練、バケツリレー、水消火器による消火訓練など
問文化振興室(☎内線5120)

健康講座in図書館
日1月25日(土)　午後2時～3時30分
場市立図書館
講友常孝則さん(友常クリニック)
内「お医者さんのはなし～身近な病気・糖尿病～」
定60人程度(先着順)
申電話または直接
問市立図書館(☎823・4646)

子ども郷土研究発表会
日1月25日(土)　午前10時～正午(作品の展示は2月16日(日)まで)
場上高津貝塚
※発表会の見学のみの場合は入館料不要
問上高津貝塚(☎826・7111)

結婚相談会
日1月19日(日)　午後1時30分～4時(受け付けは午後3時まで)
場本庁舎2階　研修室3
講エンゼルプラン土浦C―LOVE
持写真(上半身L判)
問少子化対策室(☎内線2281)

みんなで協働のまちづくりシンポジウム
日1月25日(土)　午後1時30分～4時(ポスター掲示は1月17日(金)から25日(土)まで)
場県南生涯学習センター
講池田幸也さん(ソーシャル・ナビゲーター・ネットワーク)
内講演「市民が創るコミュニティ～協働力を培うために～」、パネルトークなど
問市民活動課(☎内線2234)

在宅療養を考える市民講演会
日2月1日(土)　午後2時～3時30分
場土浦協同病院(おおつ野四丁目)
講栗原幸江さん(心理療法士)
内ACP(アドバンス・ケア・プランニング)について
問高齢福祉課(☎内線2500)

土浦地方家族会「家族を支える会」
日1月18日(土)　午後1時30分～3時30分
場二中地区公民館
対精神に障害のある方とその家族
内悩み相談、意見交換
問土浦保健所(☎821・5516)

農業用使用済みビニール・ポリエチレンを回収します
日2月13日(木)　①午前9時30分～11時30分、②午後1時30分～3時30分
場①JA水郷つくばれんこんセンター(手野町)、②JA水郷つくば土浦北支店梨選果場(藤沢)
¥処理費／1kgあたり32円、登録料／1000円(今年度初めて利用する場合のみ)
申電話で
〆1月31日(金)
問農林水産課(☎内線2712)

土浦商工会議所女性創業講座
日1月11日(土)、18日(土)　午前10時～午後3時(全2回)
場土浦商工会議所(中央二丁目)
対本格的に起業を検討している、または起業に興味がある女性(男性の受講も可)
講三宅哲之さん(フリーエージェントインク)
内「起業に必要なものと、いろいろな起業スタイルを学ぼう」ほか
定10人(先着順)
※申込方法など、詳しくはお問合せください。
問土浦商工会議所(☎822・0391)

陸上自衛隊夜間飛行訓練
日1月15日(水)、16日(木)、21日(火)、22日(水)、28日(火)、29日(水)
場陸上自衛隊霞ヶ浦飛行場ほか
問同航空学校霞ヶ浦校(☎842・1211)

社会福祉協議会からのお知らせ
□地域介護教室
日2月8日(土)　午前10時30分～11時40分
場新治地区公民館
対市内在住・在勤・在学で中学生以上の方
定30人
〆1月24日(金)

□ひとり親家庭親子ふれあいの集い
日2月16日(日)　午前8時30分～午後4時40分
対市内のひとり親家庭の親子(子は中学生以下)
内行き先／ふなばしアンデルセン公園(千葉県船橋市)
定20組
¥大人…1000円、こども…500円
〆1月31日(金)

◎共通
申電話で
問土浦市社会福祉協議会(☎821・5995)

市政のお知らせ information

令和２年成人式の会場が変更となりました

問文化生涯学習課（☎内線5163）

１月12日（日）に開催される成人式の会場が変更となりました。ご迷惑をおかけして誠に恐縮ですが、お間違えのないようにお越しください。

日時／１月12日（日）　午後１時30分から（受け付けは午後０時30分から）
会場／水郷体育館

市政のお知らせ information

令和２年度土浦市奨学生を募集します

問教育総務課（☎内線5103）

応募資格／令和２年３月に市立中学校または義務教育学校を卒業し、４月から県内の高等学校に進学を予定しており、次の要件を全て満たしている方
◉経済的理由により就学が困難と認められる方
◉引き続き１年以上市内に住所を有している方（扶養義務者またはこれに準ずる方を含む）
◉成績良好、品行方正であること
◉他の奨学金を受けていないこと

募集人数／16人
給付金額／月額7000円
応募方法／応募には現在通学している中学校または義務教育学校の校長からの推薦が必要となります。事前に担任の先生へご相談ください。
応募締切／２月５日（水）

市政のお知らせ information

神立駅西口自転車駐車場がリニューアルオープンします

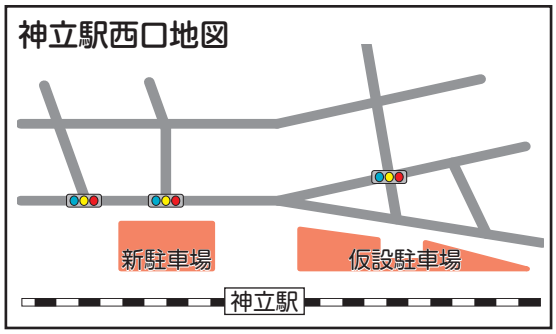
問生活安全課（☎内線2306）

建て替え工事中の神立駅西口自転車駐車場が２月１日（土）にリニューアルオープンします。現在利用可能な仮設自転車駐車場は、１月31日（金）で閉鎖となりますので、新しい自転車駐車場をご利用ください。

◎定期駐車の受付について
受付開始日／１月15日（水）から
受付時間／午前６時から午後９時まで
申請方法／自転車、はんこ、駐車料金、学生証（学生のみ）を持参して自転車駐車場窓口で直接

※自転車ラックは、タイヤサイズ20～27インチ、タイヤ幅上段51mm以下、下段54mm以下、耐荷重25kg以下に対応しています。

車種	駐車区分			料金
自転車	定期駐車（１か月）	学生	上段	1,600円
			下段	2,140円
		一般	上段	2,140円
			下段	2,670円
	一時駐車（１日１回）			150円
原動機付自転車（50cc以下）	定期駐車（１か月）	学生		2,985円
		一般		3,740円
	一時駐車（１日１回）			200円



新春　博物館長が語る

中世の土浦
―土浦藩成立以前の風景―

▲若泉山扁額

▲若泉山安養院本堂（本庄市指定文化財）

市民の皆様、新年明けましておめでとうございます。

私は昨年4月、両館兼務の館長を拝命致しました。筑波山麓に生まれ、以来70年余、土浦は私の生活空間の大切な一部です。はからずも館長に就任し、学校とは異なる研究現場で不慣れながらも越年しましたが、この間、館長講座や館員の皆様との深密な交流を通じて自分の役割を多少は感じ取れたようです。

さて年頭に当たり、私の所感の一端を申し述べてみます。私の研究分野は江戸時代以前、平安時代以後であり、戦後では特に日本中世史などとも言われます。

この分野から土浦を見てみましょう。すでに『土浦市史』（昭和50年刊）などで詳しく土浦の歴史が語られるなか、ふと思い浮かぶことは、現土浦市（旧土浦町）のどこにも土浦なる地名が見当らない、という点です。私にとっては誠に不思議です。皆様はこの現実をどのように思われるでしょうか。

つまり、土浦の地名の由来がわかりません。当り前のように、〝ここは土浦である〟との前提が問われるのです。

これまでに、例えば京都駅近傍の古刹（こさつ）である東寺（とうじ）、正式には教王護国寺（きょうおうごこくじ）に伝来する東寺百合（ひゃくごう）文書の中の鎌倉時代（元徳元（1329）年）の文書には「土浦（郷）」が確認できます。これは東寺に絹代の銭を年貢として納入する義務を負った東寺領常陸国信太庄（ひたちのくにしだのしょう）の一区としての「土浦」という地名の初見（しょけん）といえます。ちなみに信太庄とは

糸賀　茂男

土浦市立博物館館長
上高津貝塚ふるさと歴史の広場館長
常磐大学名誉教授

研究分野は、常陸平氏や真壁氏、小田氏などの中世史。これまでに茨城県文化財保護審議会会長（茨城県）、国指定史跡真壁城跡整備検討委員会会長（桜川市）を歴任。永年の研究の功績を讃えられ、昨年11月、文化財保護の分野で地域文化功労者表彰を受賞。

旧常陸国信太郡(旧土浦町・阿見町・美浦村・旧江戸崎町・旧東村)の江戸崎以西の一帯に相当し、鎌倉時代の末葉(文保二(1318)年)に一括して東寺支配下の寺領(当該地から様々な種類の年貢もしくはその代銭を徴収して経営の資財に当てる役割を担った)となりました。

さて、この土浦とはどこか、どの一帯に相当するのか、実は不明なのです。思えば、鎌倉期の土浦は、仮に現在の土浦市街地およびその周辺を想定しても、桜川(古くは筑波川)河口の大湿地帯・デルタ地帯であったのです。ではここには通常の農村風景は無かったのか、大いに苦慮する研究の局面です。

そこで次にこの難題を解く一つの事例を紹介してみます。それはすでに『土浦市史』などでも指摘されていることですが、永享7(1435)年に土浦郷に居住している「若泉三郎」なる「富有仁」の存在です(「鹿島大祝文書」)。富有仁とは、〝富裕の人〟、つまり豊かな財産の所有者です。その明瞭な所在地や屋敷構えは全くわかりませんが、その名からもこの地域の武士、領主でしょうか。そしてその系譜は、という時に思いつくのは武蔵七党(武蔵国の武士団)の中の若泉氏です(埼玉県本庄市内に〝若泉〟という地名がある)。児玉党(武蔵国北方の児玉郡内の武士集団)に属する若泉氏は、実はこの若泉三郎の数代前の若和泉太郎次郎が他の武蔵武士とともに北畠親房など南朝勢攻略のため小田城およびその周辺を転戦しました(別府文書「別府幸実軍忠状」康永3(1344)年)。あるいは若泉三郎の子孫と思われる若泉五郎右衛門は戦国期に小田氏家臣菅谷氏によって土浦を奪われた、との伝承も併せ考えるとき、朧げながら若和泉太郎次郎の論功行賞としての土浦拝領以後、戦国に至る間の若泉氏による土浦在住が想定されるのです。あわせて若泉氏による瀧泉寺、不動院開創伝承にも注目したいです。

大湿地帯のどこにその居所あるいは館があったのか、中城(条)か、東崎か、はたまたその勢力の規模は。これらは中世史上の土浦研究の難しくも楽しい課題です。

今年3月半ばから博物館特別展『土浦城―時代を越えた継承の軌跡』が始まります。そこでも若泉氏に迫ります。

どうか皆様、ご来館の上で中世の土浦にも思いを馳せて下さいますように。

結びに私の年頭愚詠です。

香澄立つ　浦辺の里の初日影

筑波川なる　水面にそ映ゆ

▲補陀落山瀧泉寺(中央二丁目)

▲中城山不動院(中央一丁目)

新春文芸

日本には豊かな四季があり、土浦にもその四季に応じた情緒溢れる様々な風景があります。今回は市内で活動をする短歌、俳句、川柳の会の方に、土浦の春夏秋冬を題材に、歌と句を詠んでいただきました。新年を迎えたこの機会に、自分のまちの四季の風景に改めて思いを巡らせてみてはいかがでしょうか。

短歌『土浦の春』

白梅にメジロの緑の羽映り土浦城趾に春訪れる　色川　昌志

亀城公園（土浦城趾）に咲く梅の花、一輪ごとに春の歩みを感じさせるものです。訪れるメジロの声も暖かさを運びます。

子ら寄れば岸に相ひ寄り土浦を離れられない残り鴨かな　栗田　幸一

鴨は留鳥の軽鴨以外は、春を待たずに北の地へ帰る。ところが春深くなっても湖沼に居残る鴨を残り鴨といい、どこか愛らしい。

新春の霞浦の湖岸に羽根休め白鳥鴨のふる里なりや　腰山　佑子

毎日公園に散歩に行く途に此の冬も湖岸に羽根休め寛いでいる白鳥や鴨に癒される。ここをふる里に飛来してくるのか感動する。

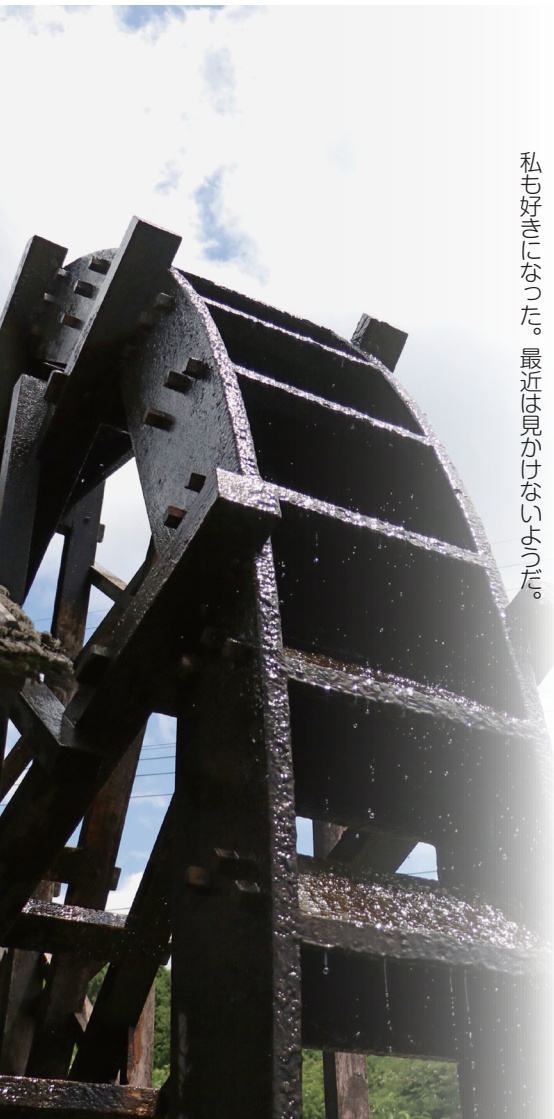
湖（こ）を周（めぐ）るりんりんロードは花霞（はながすみ）ヘルメットが見ゆまた四つ行く　遠山　順子

爛熟の桜花の中を色とりどりのヘルメットの自転車が走る。三々五々と続く風情はまるで、青春映画の一コマを見ているようです。

銀輪で町起しする土浦のりんりんロードを奔（はし）る若きら　渡部　克美

ヘルメットに長袖シャツと短パンで市中を走る若者が増えた。土浦が健康的に若返った気がして嬉しい。

短歌『土浦の夏』



真鍋なる照井の水に夏さりてほてい葵の咲く日待たるる　市島　紀郎

真鍋宿の善応寺脇にある照井は昔から涸れたことがなく旅人の喉を癒したとか。夏にほてい葵が薄紫の花を咲かせるそうです。

車椅子を一気に乗せてキララちゃん小暑のなかを走り行きたり　根本　晴市

キララちゃんは土浦を走る小型の路線バスである。運転手が車椅子を一気に乗せた、手際の良さに感心。夏の日のことである。

炎天も人の情も廻しつつ小野の水車に山の風吹く　荒井　洋子

懐かしき故郷の小野山に友と登り感動した。四季折々の山の姿、美しさは変わらない。令和の年に水車の音を、平和を祈りつつ聴く。

一世紀余数多の子等を見守りて青葉まぶしき真鍋の桜　生稲真理子

真鍋小学校校庭の真中に天然記念物の桜の古木が立ち並び、春には満開の桜、初夏からは青葉の木陰が大勢の子供たちを育んできました。

霞ヶ浦のゴロハゼが好きという母に佃煮探しし日もはるかなり　平澤　良子

私はゴロハゼを知らなかった。食べたいという母のため探して、私も好きになった。最近は見かけないようだ。

俳句『土浦の秋』

大花火揺れの止まらぬ城下町　狩谷　諭

数十万の観客を迎え、豪華絢爛たる光りと音の美の競演の夜。十号玉の轟音と観客の歓声で、城下町は揺れ続ける一刻となる。

風いちめん峠明るき蕎麦の花　土屋佐奈江

常陸野に咲く蕎麦の花の美しいこと。夕暮れどき、風に揺れて小さな白い花が光りのさざ波となり、見る者を幸せにしてくれる。

稲を刈る床屋のようなコンバイン　山中　忠雄

昭和初期、土浦の上大津周辺は畑と田圃ばかりであった。今は秋になると、残されている田圃の稲穂の黄金が美しく、懐かしい。

みずうみに来て秋蝶の白さかな　山根　延子

水郷公園の静かな佇まいに癒される。対岸の屋根瓦の煌めきに穏やかな暮らしを思い、何時までもこの風景の続くことを祈る。

激辛のカレーの夕餉冬間近　山本慶吉郎

日ごとに冬の気配の頃合い、心まで温まり勇気を貰う夕餉をと思う。激辛のカレーを摂り、明日の仕事に備えるのも一興である。

川柳『土浦の冬』

北風がじゃれる風車も陽も笑う　後藤　建坊

快晴の霞ヶ浦公園の陽射しは温かく、オランダ風車に吹く北風はじゃれるかのように纏いつき、風車も太陽も笑ってしまう。

初日の出霞浦で無料の願を掛け　富田こうし

霞ヶ浦の初日の出も素晴らしい。寺社仏閣に行けなくても霞ヶ浦は無料で願いを聞いてくれる広い心を持っている。

先が見えるレンコンを煮る年の暮れ　久保田莉凡

お節料理に姑が、見通しが利くようにと、レンコンをかかさず用意してくれている。優しい心遣いがうれしい。

イルミネーション二人の距離を近づける　山本千栄子

冬の風物詩になった霞ヶ浦公園のイルミネーション。幻想的な光に包まれた空間は大切な人とずっと見ていたくなります。

寒風に耐えて蓮根掘る泥田　内野　泰守

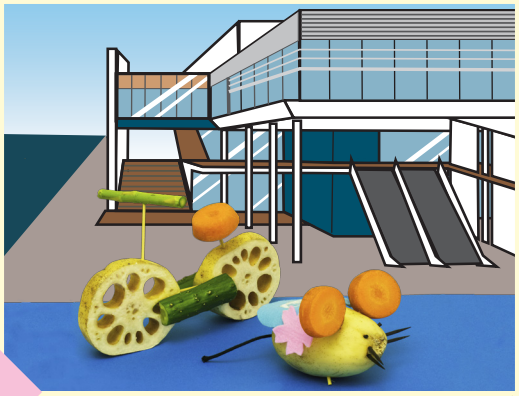
冬の寒さの中、胸まで水につかり泥の中を手さぐりでほりだす。大変な重労働であるが、正月には欠かせない食材である。

広報つちうら
2020 1
No.1258
発行／土浦市　編集／市長公室広報広聴課
発行日／令和２年１月１日
人口と世帯数／(令和元年12月１日現在)
13万8543人　6万290世帯

〒300-8686　茨城県土浦市大和町９番１号
☎029-826-1111(代表)
HP　http://www.city.tsuchiura.lg.jp/
MAIL　info@city.tsuchiura.lg.jp

れんこんねずみのおしょうがつ

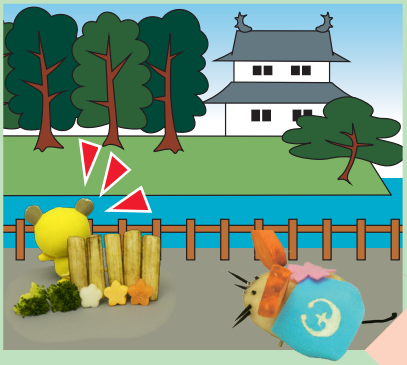
おさんぽびよりの　いいてんきだな～
あ！これは、つちまるくんのスタイだ。
とどけてあげよう！



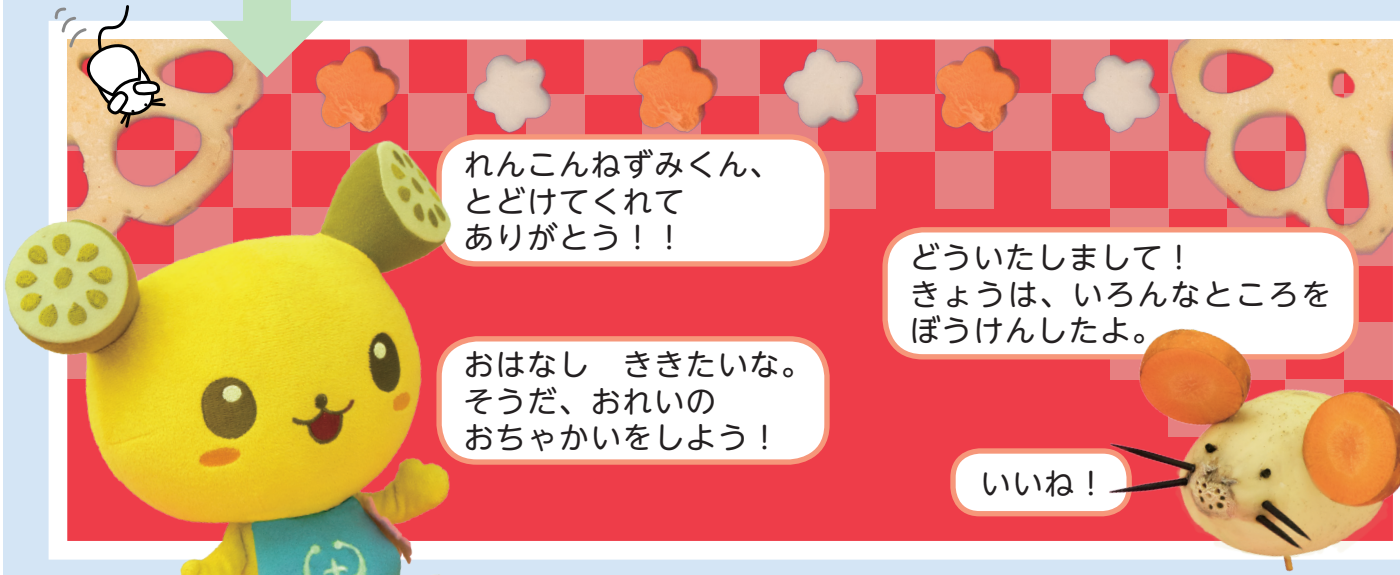
つちまるくん、どこかな。

ここにも　いないな。

つちまるくん、どこ～？



あ！あのうしろすがたは……



次回「広報つちうら」1月中旬号は、1月15日(水)発行予定です。

VEGETABLE OIL INK

UD FONT